

しまし 議会だより

Shimashi
Gikai

第73号

2023.2.15

『手づくり瓶玉』

はなかわ まさと
花川 雅人

第2回御食国志摩写真コンテストにおいて、
三重テレビ賞を受賞した作品です。



12月定例会・第2回臨時会 令和4年度一般会計補正予算等を可決



12月 第4回定例会

補正
予算

令和4年度 一般会計補正予算を可決

令和4年度 一般会計補正予算

補正額（第8号）	8億5976万円		第4回定例会で可決
補正額（第9号）	1734万円		
予算総額	292億 101万円	（うち当初予算260億2671万円）	



安全安心で
利便性が高いカード

12月定例会を11月29日から12月21日まで23日間の会期で開催しました。今定例会では、市長から令和4年度一般会計補正予算案等32議案が提出されました。審議の結果、全議案を可決しました。また、一般質問では14人の議員が熱弁を振りました。

マイナンバーカード 申請支援事業

795万円

マイナンバーカードの普及促進に向けて、民間事業者の技術と創意工夫を活用し、業務委託によるカード申請等、効率的な運営体制を構築します。

問 マイナンバーカードに入った個人情報流出する危険性はありませんか。

答 ICチップに記録される情報は、氏名、住所、生年月日、性別、個人番号、本人の写真等です。個人認証の電子証明等が限られており、税や年金等のプライバシー性の高い情報は入っていません。また、パスワードは一定回数間違えるとカードがロックされ、利用できなくなります。紛失

等の場合、24時間365日体制で一時利用停止を受け付けており、安全安心に利用できるよう、技術面、運用面の環境が整備されています。

問 紛失した場合のセキュリティは万全ですか。

答 券面情報は、文字をレーザーで彫り込み、複雑な彩紋パターンで特殊加工が施され、顔写真を含めた券面の偽造を困難にしています。また、不正に情報を読み出そうとすると、ICチップが自動で壊れる仕組みであり、高いセキュリティを担保しています。健康保険証として利用する場合も、特定健診結果や薬剤情報はICチップに入りません。

調理業務の一部を民間委託

学校給食センター 管理運営費 給食調理等業務 委託料

511万5千円

学校給食を担う調理担当の確保が困難な中、年間を通して、安全・安心でおいしい給食を安定的に提供していくため、調理業務の一部を民間事業者へ委託します。

問 今後の給食センターの運営について問います

答 子どもたちに安心・安全な食材で、給食を提供することが目的であり、正規職員が委託か選択肢を持つた上で、その都度最善の方法を選択していくことが大切だと思います。

職場には、労務管理や健康管理において、一定の正

職員は必要だと思っています。正職員や会計年度任用職員、または民間委託をどのようなバランスで取っていくのが良いのかということも加味しながら、今後の在り方については検証していきます。まずは、今の状況を乗り切るために、民間委託を一部入れて検証していきたいと思っています。

新卒者雇用促進 事業助成金

200万円

新卒者の雇用の促進と市内事業所の人材確保を図るため、新卒者を新たに正規雇用した事業者及び新卒者を継続して雇用した事業者に対し、助成金を交付します。

さらなる新卒者満足度向上を

志摩市
新卒者雇用促進助成金
—新卒者採用を考えている事業者さまへ—

志摩市では、新卒者の雇用の促進と市内事業所の人材確保を図るため、新卒者を新たに正規雇用した事業者及び新卒者を継続して雇用した事業者に対し、助成金を交付します。

問 本事業をどのように分析しますか。

答 特に、介護職や建設業等の離職率が高い業種で、この助成金を活用して、資格取得を奨励したり、福利厚生を充実させたりするなど、従業員の定着に繋がるような取り組みを行っていることから、企業の人材確保の一助となっていると分析しています。

問 なぜ、最大件数を設定しなかったのですか。

答 市内の高卒者の市内就職予定者数は事前にある程度把握できますが、市外の高卒・大卒者の市内就職予定者数の把握は困難であるため、昨年度実績を基に30人分を予算措置しました。事業開始の令和3年度は、6企業に対して23人分の交付実績でしたが、令和4年度は12企業に対して40人分の交付見込みとなり、10人分の増額補正を計上しています。

問 新卒者の市内企業への就職意欲が低い状況下で、給付金支給対象が企業だけでなく新卒者も含めると、さらに新卒者雇用促進に繋がる可能性もありませんか。

答 雇用情勢や市内企業・新卒者の動向を分析しながら、より良い制度となるよう検討していきたいと考えています。



常任委員会の審査から

―各委員会に付託された案件を審査しました。―

ここでは主な質疑を掲載します。―

総務産業 常任委員会

主な質疑

議案第72号

志摩市職員の定年の引き上げに伴う関係条例の制定

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年に係る規定を整備するとともに、管理監督職務上限年齢制および定年前再任用短時間勤務制を新設するために条例を制定します。

職員間に不公平が生じないのか

問 定年年齢を段階的に65歳とし、原則60歳に達した管理監督職員は課長補佐級以下に降任となり、給料月額を7割水準とする規定が設けられますが、それ以外

の職員との間で不公平が生じることにならないのですか。

答 管理監督職でなかった職員は、給料月額は7割水準となるが、降任はされずに引き続きその職で勤務することになります。その辺りのバランスも考慮して、運用に当たっては、公平性の欠くことのないよう検討したいと考えています。

議案第88号

志摩市指定金融機関の指定

現在の指定金融機関である(株)三十三銀行の指定が、本年度末で3カ年となるため、合併当初の方針である輪番制を原則とし、令和5年4月1日から、(株)百五銀行を市の指定金融機関として指定するものです。

輪番制に必然性はあるか

問 輪番制のメリットは何ですか。

答 地域の金融機関に公平に機会を与えることで、地域経済の発展につながります。また偏りのない企画提案が受けられます。

問 合併以降、情性で継続しているわけではありませんか。

答 志摩地域合併協議会の決定では輪番制を原則とし、3年経過後に見直しを行い決定することとしています。この決定を踏まえて一から議論を行いました。今後も他市町や金融機関の動きに注目しつつ適時検討します。

議案第90号

鳥羽志勢広域連合の処理する事務の変更及び規約の変更に関する協議

鳥羽志勢広域連合のごみ処理施設の設置、管理および運営に関する事務を処理する区域に南伊勢町の区域を加えることおよび、南伊勢町が負担する特別負担金等に係る規約の変更について、地方自治法第291条の11の規定による議会の議決を求めるものです。

南伊勢町がゴミ処理事業に加入

問 南伊勢町の加入による最大のメリットは、維持管理に伴う市の分担金が削減できることですか。

答 その通りです。地域における廃棄物処理の非効率化が懸念され、体制の構築を進める必要があります。南伊勢町の加入で、維持管理費の志摩市負担が減少することは、市民の負担が減少することに直結します。また、近隣市町で連携し、広域で処理することで2市

1町の地域間連携がさらに強固なものになると考えます。

教育厚生 常任委員会

主な質疑

議案第86号

指定管理者の指定（浜島B&G海洋センター）

志摩市浜島B&G海洋センターの管理を特定非営利活動法人に行わせようとするものです。

スポーツ施設の指定管理

問 浜島B&G海洋センター指定管理選定方法が公募になった理由を問います。

答 収益性のある施設であり、現在はNPO法人が指定管理者として管理していますが、市内にはほかにもスポーツ関連等の団体があることから、公募にするほうが望ましいと判断しました。



問 新型コロナウイルス感染症に対する業務は含まれるか問います。

答 新型コロナウイルス感染症に対する業務も含みます。

問 地震津波の避難対策として2階または、屋上への外部非常階段の設置について問います。

答 浜島B&G海洋センターは、津波の浸水想定区域内です。津波避難タワーが約300m離れたところにあり、そこへ避難するほうがより安全であると考えています。

本会議での

討論

※それぞれの文章は、討論を行った議員本人が作成しています。

議案第71号 志摩市個人情報保護の保護に関する法律施行条例の制定

反対

森 光子 議員

国が自治体独自の大事な保護制度を含む個人情報保護条例を一旦リセットし、全国共通のルールを設けた上で自治体独自の保護措置は最小限に制限し、自治体が条例で国より強い規制がやりにくくなります。地方自治体が長年積み重ねてきた個人情報保護の大きな規定をなくし、企業の活用をやりやすくすることを狙うものです。

現行条例の廃止と全国共通ルールにより個人情報保護

保護が後退する危険性があるため、この議案に反対します。



議案第74号 志摩市議会議員及び志摩市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正

反対

濱口 卓 議員

選挙運動用自動車使用及びポスター作成公営費の限度額の引き上げにより、お金のかからない選挙の推進、また、候補者間の選挙運動の機会均等が図れるとされていますが、供託物が公職選挙法による得票数により、市に帰属されない場合に限定と定められています。すなわち、実費となります。

候補者が投票結果を求めるための選挙運動費用に制限を加えることは、候補者の立候補への阻害要素となるのではないか本議案に反対します。



反対

上村 秀行 議員

議案第74号に反対します。

市民感情を考えると市民は新型コロナウイルスの影響を受け物価高の中すべて自分達で負担しています。この現状を考えて「志摩市議会議員及び志摩市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスター作成の公営に関する条例の一部改正について」に反対します。

私はこのような条例改正をする前に市民のことを考え、議員定数の削減、議員報酬の減額をするべきだと思います。

議案第75号 志摩市議会議員及び志摩市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正

反対

濱口 卓 議員

選挙運動用ビラ作成公営費の限度額の引き上げにより、お金のかからない選挙の推進、また候補者間の選挙運動の機会均等が図れるとされていますが、供託物が公職選挙法による得票数により、市に帰属されない場合に限定と定められています。すなわち実費となります。

候補者が投票結果を求めるための選挙運動費用に制限を加えることは、候補者の立候補への阻害要素となるのではないか本議案に反対します。

議案第88号 志摩市指定金融機関の指定

反対

小河 光昭 議員

百五銀行は、8月に実質の磯部支店の閉店案内を磯部町地区への事前説明・相談もなく、各世帯へのハガキのみで行いました。

本店ロビー掲示板には、「人と地域に寄り添って同じ未来を見つめる銀行です」と書かれています。これを設置した時の思いが、今の百五銀行にはないように感じます。市の指定を受けると赤字になると聞いています。

営利主義の百五銀行にとって、指定を受けない方が喜んでいただけだと思います。反対します。

議案第63号 令和4年度志摩市一般 会計補正予算(第8号)

反対

森 光子 議員

マイナンバーカード申請
支援事業に反対します。

法的に任意のカードなのに、国民の血税を使い2年間でマイナポイントをばらまいた効果で、カードの普及率は51%を超えました。「政府に個人情報を握られるのが怖い」等の不安を抱える人も少なくありません。国の進め方に問題のあるマイナンバーカード申請支援事業ではなく、市民の不安に寄り添い、国の悪政の防波堤になって市民の暮らし財産を守ることが行政の役割ではないでしょうか。

議案第65号 令和4年度志摩市後 期高齢者医療特別会 計補正予算(第2号)

反対

森 光子 議員

制度そのものに反対です。高齢者の医療費は上がる一方で年金は6月から0・4%削減です。

10月から年収200万以上の高齢者の医療費は1割から2割となり、志摩市では204人の高齢者の方が医療費2倍になりました。経済的不安から病院にかかるのをやめる人も出て病気が悪化し、治療が長引く事態も起こっています。高齢者が安心できる制度に変えるべきです。以上の理由で反対します。

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。



議案の審議結果一覧

●全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案番号	議案名	議決結果
補正予算	議案第 64 号	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
	議案第 66 号	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
	議案第 67 号	令和4年度水道事業会計補正予算(第2号)	可決
	議案第 68 号	令和4年度下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
	議案第 69 号	令和4年度国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)	可決
	議案第 93 号	令和4年度一般会計補正予算(第9号)	可決
	議案第 94 号	令和4年度国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)	可決
条例制定	議案第 70 号	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定	可決
	議案第 72 号	職員の定年の引上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可決
	議案第 73 号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定	可決
条例改正	議案第 76 号	阿児の松原スポーツセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正	可決

●全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案番号	議案名	議決結果
その他	議案第 77 号	指定管理者の指定（浜島コミュニティセンター誠心館）	可決
	議案第 78 号	指定管理者の指定（浜島コミュニティセンター養心館）	可決
	議案第 79 号	指定管理者の指定（迫子地区公民館）	可決
	議案第 80 号	指定管理者の指定（志摩市南張生涯学習センター）	可決
	議案第 81 号	指定管理者の指定（布施田コミュニティセンター）	可決
	議案第 82 号	指定管理者の指定（越賀地区多目的集会施設）	可決
	議案第 83 号	指定管理者の指定（山田コミュニティセンター）	可決
	議案第 84 号	指定管理者の指定（川辺コミュニティセンター）	可決
	議案第 85 号	指定管理者の指定（おりきの松公園多目的集会施設）	可決
	議案第 86 号	指定管理者の指定（志摩市浜島 B & G 海洋センター・志摩市浜島ふるさと公園）	可決
	議案第 87 号	指定管理者の指定（志摩市磯部ふれあい公園・志摩市磯部プール）	可決
	議案第 89 号	三重県市町総合事務組合規約の変更に関する協議	可決
	議案第 90 号	鳥羽志勢広域連合の処理する事務の変更及び規約の変更に関する協議	可決
	議案第 91 号	工事請負契約の変更（令和 4 年度 和具漁港津波避難施設整備工事）	可決
	議案第 92 号	工事請負契約の変更（令和 4 年度 磯部ふれあい公園体育館等大規模改修工事（電気設備工事））	可決

●賛否が分かれた議案と審議結果

（付託委員会） 予…予算決算常任委員会 総…総務産業常任委員会 ※金子研世議長は表決に加わりません。【○：賛成 ×：反対 欠：欠席】

区分	議 案 名	委員会付託	山川 楠人	堀江しおん	濱野 由人	松井 研二	森 光子	山本 桂史	下村 卓也	井上 幹夫	前田 俊基	濱口 卓	中村 孝司	渡辺友里夏	上村 秀行	野名 澄代	山下 弘	小河 光昭	西崎 甚吾	賛成	反対	結果
補正予算	議案第63号 令和4年度一般会計補正予算(第8号)	予	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1	可決
	議案第65号 令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	予	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1	可決
条例制定	議案第71号 個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	総	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1	可決
条例改正	議案第74号 志摩市議会議員及び志摩市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正	総	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	13	3	可決
	議案第75号 志摩市議会議員及び志摩市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例の一部改正	総	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	13	3	可決
その他	議案第88号 指定金融機関の指定	総	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	15	1	可決
	発議第10号 議会の個人情報の保護に関する条例の制定	なし	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	15	1	可決

令和4年 第2回 臨時会

令和4年11月1日の第2回臨時会において役員改選と補正予算2議案の審議を行いました。役員改選では、副議長、議会運営委員会委員を決定しました。議長、各常任委員会委員、特別委員会委員および一部事務組合等の議会議員については、任期中であるため、変更はありません。なお、監査委員は昨年に引き続き井上幹夫議員です。

副議長

はま ぐち たかし
濱 口 卓

議会運営委員会（7人）

定例会等の会期日程や議会運営に関する事項、議長の諮問に関する事項について
審査・調査を行う委員会

委員長	あがわ 小河	てるあき 光昭	副委員長	やまもと 山本	けいし 桂史
委員	はまの 濱野	よしと 由人	しもむら 下村	たくや 卓也	
	なかむら 中村	たかし 孝司	やました 山下	ひろむ 弘	にしざき 西崎
					じんご 甚吾

就任のごあいさつ

市民参加のまちづくりを目指して

志摩市議会副議長 濱口 卓

この度、議員各位のご推挙をいただき、志摩市議会副議長に就任させていただきました。議長の補佐役として、市民の皆様のご意見を真摯に受け止め、市民に開かれた議会の役割を最大限に発揮するため、議長が掲げる「強い議会」である、議員一人ひとりが豊かな発想を持ち議論を積極的かつ慎重に重ね最大有効な施策を議決することで、市民のための議会運営に誠心誠意、努めてまいります。

今後とも市民の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

補正 予算

令和4年度 一般会計補正予算を可決

補正額（第6号） 3億6685万円

補正額（第7号） 2億3947万円

予算総額 283億2390万円（うち当初予算260億2671万円）

第2回臨時会で可決

官民一体となり

おもてなしを

主要国首脳会議 関係閣僚会合推進 事業

2656万3千円

2023年開催予定の「G7三重・伊勢志摩交通大臣会合」の成功に向けて、県・関係団体等と連携しながら、開催支援・気運醸成等の各種取り組みを進めていきます。

問 G7三重・伊勢志摩交通大臣会合推進協議会の取り組みを問います。

答 交通大臣会合の成功に向けた開催支援や、県内の気運醸成を目的とした広報啓発、来県される会合関係者等へのおもてなし、会合開催を契機とした国内外への三重の魅力発信、それから若い世代に向けた国際理解や国際交流を図る取り組み等が予定されています。

問 国際会議の開催地としてのブランド確立の施策を問います。

答 今後、大小を問わず、国際会議等の誘致・開催を目指していく中で、成功体験を積み重ねることにより、「志摩市＝国際会議」の開催地というイメージを確立し、市民が誇りに思えるまちづくりを目指していきます。

そのためには、本市が国際会議等の開催地としてふさわしい場所であるという情報発信をしつかりと行い、市内の受入れ体制の整備に取り組んでいくことを考えています。

今後は魅力の発信・環境整備・おもてなしの気運醸成に取り組んでいくということを考えています。



決済サービスをPayPay のみとした理由は

キャッシュレス 決済ポイント 還元事業

6979万2千円

市内の対象店舗において、商品・サービス等をコード型決済アプリで購入・利用した方に、決済額の一定割合のポイントを付与する事業を実施します。

問 様々なキャッシュレス決済サービスがある中で、対象をPayPayのみに限定した理由を問います。

答 新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を財源とした事業であり、年度末までの予算執行が求められています。

理由としては、①市内での加盟店舗が約670店舗と高いシェアを占めていること、②延べ512自治体と多くの連携実績があること、③自治体のDX推進に

関する連携協定を締結していること、④複数の場合、それぞれの事業者に対し運営費が必要となることです。

これらの理由から、1社に限定することで費用を最小限に抑えつつ、最大限の効果期待できると考えています。

問 事業者向けはクレジットカード型決済、一方、消費者向けはコード型決済であり、整合性が取れていないのはなぜですか。

答 コード型決済は、店舗のエリアを志摩市内に限定して行うことができる一方、クレジットカードや電子マネー型決済では地域を限定したポイント還元を行っていることが、コード型決済を対象としました。

本会議での

討論

議案第62号

令和4年度水道事業 会計補正予算（第1号）

反対

野名 澄代 議員

水道使用料の基本料金を3カ月免除することには賛成です。ただ、生活保護世帯については、「生活扶助に基本料金が含まれているか」といった議論もできず、質疑が打ち切られてしまいました。

生活保護世帯に対して行政の支援が必要なのは十分承知しています。しかし、それ以上にもっと厳しい生活をされている方々に対して、不公平とならないような議論の下に判断したいと考えましたが、審議不十分であったため反対するものです。

議案の審議結果一覧

(議会構成に係る選任・選挙を除く)

●全会一致で可決した議案等

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

区分	議案番号	議案名	議決結果
補正予算	承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度一般会計補正予算(第6号))	可決
	議案第61号	令和4年度一般会計補正予算(第7号)	可決
その他	同意第2号	教育委員会委員の任命	同意
	同意第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
	同意第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
	同意第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
	同意第7号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
	同意第8号	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意

●賛否が分かれた議案等と審議結果

(付託委員会) 予…予算決算常任委員会

※金子研世議長は表決に加わりません。【○:賛成 ×:反対】

区分	議案名	委員会付託	山川 楠人	堀江 しおん	濱野 由人	松井 研二	森 光子	山本 桂史	下村 卓也	井上 幹夫	前田 俊基	濱口 卓	中村 孝司	渡辺 友里夏	上村 秀行	野名 澄代	山下 弘	小河 光昭	西崎 甚吾	賛成	反対	結果
予補算正	議案第62号 令和4年度水道事業会計補正予算(第1号)	予	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	16	1	可決
その他	同意第3号 公平委員会委員の選任	なし	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	14	3	可決

一般質問

市政のここを聞く！

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市政全般について、市長の考えや意見を求め、事情をただし、議員や市民の意見等を述べることをいい、定例会でのみ行われます。

議員一人の持ち時間は60分以内と定めており、議会だよりでは、このやりとりを議員が要約して、掲載します。

今定例会では、14人の議員が一般質問を行いました。

← 次ページより

令和5年第1回定例会日程(予定)

2月	27日	本会議
	28日	本会議(2日目)
3月	2・3・6日	本会議(一般質問)
	9日	総務産業常任委員会
	10日	教育厚生常任委員会
	13・14・16・17日	予算決算常任委員会
	23日	本会議

市役所6階議場・委員会室にて午前9時から
※都合により変更になる場合があります。

YouTube「志摩市議会」
チャンネルでは一般質問の
録画映像を視聴できます。



3つの観光施設 今後の事業展開は



にし ざき じん ご 議員
西 崎 甚 吾



問 令和5年度の「市政運営の基本的な考え方」と「予算編成方針」を踏まえ、志摩市観光農園・阿児の松原スポーツセンター・志摩パークゴルフ場の事業展開を問います。

①市民ニーズや社会・経済情勢を的確に捉え、事業の点検に取り組んでいるか。②実施根拠、手法や効果について担当課で確認を行い、廃止・休止等事業の見直しを図っているか。③事業の目的や効果について計画・実施・点検・評価・改善のサイクルで予算要求を行うか。以上3点を問います。

答 産業振興部長

観光農園は、コロナ禍でオープンエリアの観光スポットとして独自の情報発信を積極的に行い、令和4年度の入園者数は過去最高記録になりました。土壌改良にも取り組み、新しい品種も取り入れているほか、開園期間の延長を行うなど、入園者数の増加、財源の確保につなげる見直しを行っています。今後も屋外での体験、交流施設として運営していきけるように現在予算要求を行っているところです。

阿児の松原スポーツセンターは、国から譲渡された施設で近年はサーファーや海水浴客の駐車場

とシャワー利用が主なものです。事業の見直しは、国が設置した法令の規制も含めた調査を行っており、廃止も含めた用途変更を決めていきますが、関係者のご意見を伺い方向性を決めたいと考えています。令和5年度はこれまで通りの運営としつつ、駐車料金改定の増額を見込み財源の負担軽減で改善したいと考えています。

パークゴルフ場は、利用者の7割以上が市内のリピーターの方で、健康のために利用する条例に合致した運営が行われています。県外の利用者は増加しています。市内の利用者は年々減少傾向にあることから、運営の方向性を検討したいと考えています。事業の見直しは、新規利用者を獲得す



志摩市観光農園

る必要性を感じており、コース維持にも課題があることから、令和4年度中に利用者へのアンケート調査を行う予定です。

令和5年度は4年度と同様の予算としながら、実施するアンケート調査にて、リピーターや新規利用者の目線に立った検討をし、関係団体や関係者のご意見も伺って運営したいと考えています。

土地借り上げ料が 20年間で約8千万円

問 観光農園の土地借り上げ料年間395万円は契約期間30年で、あと10年は続きます。契約書に賃貸料の見直しは3年ごとに協議してその額を定めるとあります。過去20年間一度も協議は行われず3年ごとの見直しを実施しない契約は、手続きとして違反で無効にならないのですか。

答 産業振興部長

借上げ地は大部分が川川自治会の所有で11月に訪問し、契約に関する自治会の意向も確認しています。契約上は賃貸料金が3年間は担保され、3年ごとに見直しを約束したものでなく、手続きに法的な問題はないと理解しています。



志摩パークゴルフ場

指定管理者制度を導入するパークゴルフ場

問 パークゴルフ場の条例が改正され、指定管理を導入する目的や理由を担当課は説明しましたが、実現はいつになりますか。

答 産業振興部長

令和3年3月議会の定例会で条例改正しました。指定管理をそう遠くない時期に実施することで現在検討しているところです。

まちづくりの あるべき姿とは



まつ けんじ 議員
松 井 研 二



12

市政のここを聞く！

問 閑散期と繁忙期の格差に対する課題や取り組みを問います

答 市長

本市では、教育旅行満足度向上事業や学生合宿補助事業により、学校団体や学生グループを誘致することで、旅行のトップシーズンを外した旅行需要の取り込みに成功していると認識をしています。

県も、全国旅行支援において平日クーポンの金額を増額するなど、閑散期への誘客強化の取り組みを実施し、引き続き観光関係事業者の皆さんからの意見を聞きながら、閑散期対策を強化していきたいと考えています。

課題解決に向けた事業を推進し、四季折々の志摩を肌で感じていただき、年間を通じて楽しんでもらえる観光地として、効果的な取り組みを実行していきます。

問 日帰り客を宿泊客にするための考えを問います。

答 産業振興部長

近隣市町や伊勢志摩観光コンベンション機構との連携を強化し、面での周遊促進に取り組みことで、本市への宿泊客を獲得していきたいと考えています。

また、夜や早朝といった宿泊が必要となる独自の観光コンテンツ



土木遺産にも認定され、今後の観光資源への活用に期待

の造成も、強化をしていく必要があります。例えば、星空を活用した事業の磨き上げや、早朝に行われる伊勢えび漁の網さばきの見学ツアー等、より進めた形での造成も検討していければと考えています。

市としても、学生合宿の誘致事業やデジタルを活用した全国からの誘客強化事業の実施で宿泊客を増加させて、ビッグデータによる本市の興味関心を把握して、宿泊者のニーズに沿った新たな宿泊客の獲得を目指していきたいと考えています。

問 インバウンド観光に対する考えを問います。

答 産業振興部長

外国人観光客の誘客については、広域的に実施する必要がある

と考えており、県や近隣市町との連携を深めた上で、戦略的かつ、効果的に志摩の自然や文化を生かしたプロモーションを実施し、市内宿泊事業者等との連携の下、国際会議が開催される観光地としてのブランド力を磨き上げ、外国人観光客を獲得していきたいと考えています。

都市計画は まちづくりの基本

問 本市において策定している各種計画と志摩市都市計画マスタープランとの関係性を問います。

答 建設部長

都市計画法に基づくマスタープランは、市の今後の方向性や方針を見据える上で非常に重要であると考えています。

各種計画との整合性も含めて、マスタープランを見直す際には、既存計画の内容や地域状況、経済状況等様々な状況の変化を考慮し、また、関係機関や市民の方々からの意見も含めて進めるなど、



早期の見直しが必要と考えるが…

相対的に検討していきたいと考えています。

問 志摩市都市計画マスタープランを見直すべきと考えるが、市の考えを問います。

答 建設部長

昨今の急速な時代の変革に伴う今後の市のあるべき指標の見直しは、早急にしなければならぬということも十分認識していますので、早期の見直しも含めて、検討していきたいと思っています。

答 市長

市民の皆さんの意見もしっかりと聞き、どういった形のまちづくりが必要なのかということをし、我々のフィルターをしっかりと通して、都市計画マスタープランにおいても見直しを進めていきたいと感じています。

安全・安心・ 住みよいまち



やまもと けいし 議員
山本桂史



マイナンバーカード 交付

問 現在の市内、県内、全国の交付率を問います。

答 市民生活部長

令和4年10月末時点で人口に対する交付枚数率は、全国51・1%、三重県50・6%で、市は38・7%です。

問 県下で、何番目が問います。

答 市民生活部長

29市町で28番目です。

問 使用できなくなった場合の対応を問います。

答 市民生活部長

暗証番号を忘れたり、誤った入力により暗証番号のロックがかかってしまい、マイナンバーカードの利用ができなくなった場合には、市民課や各支所窓口において、再度、暗証番号の設定ができます。

飛散してこないか 心配

問 廃船を解体した廃棄物が陸上に大量放置されています。飛散しないか、不法投棄の場所になるのではと相談をしていますが、どのような対応をされたのか問います。



放置された廃棄物

答 市民生活部長

令和4年7月21日に、県志摩建設事務所、市水産課、漁協職員等により現状を確認しました。その際、陸上にある解体した廃船の廃棄物処理の件について、相談を受けています。

陸上の廃棄物については、南勢志摩地域活性化局環境室で解体を行った関係者を把握しており、定期的に廃棄物を撤去するよう行政指導を行っています。

支障木等の伐採計画 の進捗状況

問 伐採計画による実施はどの程度進んでいるのか問います。

答 建設部長

建設整備課において、令和4年7月に志摩市道路支障木伐採計画を策定しています。この計画に基

づき、令和4年12月には、対策の一つとして、道路支障木除去業務委託の入札をする予定です。
また、建設整備課の道路作業員で伐採可能な路線に関しては、現在も順次、直営作業にて伐採を進めています。

問 優先順位等を決めて伐採していくのかを問います。

答 建設部長

まず、交通量の多さという観点から幹線道路であるか、次に、地元自治会や教育委員会等関係機関からの要望を受けているかなどを判断して、通行に支障となっている各路線を4段階に分けて検討しています。その上で、交通量の多さやバス路線かの判定と、通学路として指定されているかなど、総合的に各箇所の状況を加味しながら、各路線の優先順位を考えて対応を進めています。



歩道にせり出した支障木

石橋は安全で安心か

問 現在の石橋数を問います。

答 建設部長

建設整備課が管理する市内の市道上における石橋は13橋です。

問 市民から「怖い、心配である」という声があります。それらの石橋は安全か、点検等を行っているのかを問います。

答 建設部長

点検については、平成26年度から市が行っている橋梁点検業務により、5年に一度の頻度で市道における橋梁点検の実施をしています。

点検の結果、橋梁の安全性、健全性は、市内すべての石橋で、1という健全な状態、または、2という予防保全が望ましい状態との分類から、現在では、安全であると判断しています。

問 今後、どのような整備を行っていくのか問います。

答 建設部長

市内の橋梁点検を継続的に実施し、石橋の健全性が3の早期に措置を講ずべき状態、または4の緊急に措置を講ずべき状態と判定された場合、石橋は修繕が困難であることから、速やかに橋の架け替え等の計画も含めた検討をしています。

※他にマイナポイント、新型コロナウイルス感染症対策についても質問しました。

新たな被害者 救済支援制度を



しもむら たくや 議員



問 令和4年9月23日の台風15号の被害状況を問います。

答 市長

非常に激しい雨の影響により、市内の各所で道路冠水や浸水被害、土砂崩れ等が発生しています。

答 危機管理統括監

市内の各所で道路冠水や浸水被害があり、住家被害は、床上浸水が9軒、床下浸水が17軒、合計26軒でした。公共土木施設等被害については、道路等が47カ所、河川等が9カ所でした。

問 災害復旧の補助要件を問います。

答 建設部長

補助の採択基準は、①天然現象により生じた災害であること、②対象が公共土木施設で、現に地方自治体が維持管理されていること、③地方公共団体、またはその機関が施工するもの。このような要件が基本となっています。公共土木施設で赤道と言われている道路法上の適用を受けない法定外道路や、河川法上の適用がない法定外水路等の法定外公共物、また私道である道路位置指定道路や開発道路等は国の補助を申請するための採択要件には該当しないため、



台風被害状況

国の災害復旧事業としての補助は受けられません。

問 これだけの異常気象による被害が増えてきている現状では、一定の基準を設けた市単独補助事業としての支援も検討する必要があります。ではないですか。

答 建設部長

個人財産の災害復旧時の市からの補助等については、法的な問題等、いろいろな問題も考慮しながら、今後、他市の事例等を調査し、研究していきたいと思っています。

**ふるさと応援寄附金
で財源確保を**

問 ふるさと応援寄附金増額に向けた新たな施策を問います。

答 政策推進部長

バナー広告の効果検証と分析したデータを活用してトレンドを把握し、寄附者のニーズに合った返礼品を取り揃え、寄附の増額を目指します。

問 返礼品等への事業者獲得が受け身になっていませんか。

答 政策推進部長

市内で生産される様々な特産品は、市もしっかりと情報収集を図り、把握に努めます。魅力ある特産品は、返礼品として登録をしてもらえるよう積極的に働きかけ、それらの返礼品をより魅力的に情報発信できるよう、事業者の皆さんと連携を図っていききたいと考えています。

**SDGsが市の産業
に与えた影響**

問 市の産業にSDGsはどのような影響をもたらしたか分析しましたか。

答 政策推進部長

SDGsを意識した取り組みや経営を進めることで、様々な効果やメリットを享受していると考え

ています。

問 形状変更を伴う開発が、農業や漁業そして市民生活に悪影響を与えています。有効な手立てを問います。

答 市民生活部長

大雨が降ったとき等は、濁水が発生する可能性がある川や海へ職員が出向き、状況を確認し、必要であれば、工事現場や施設の調査を行うとともに、事業者に対し、対策を講じるよう指導してまいりました。市の指導に対し、ほとんどの事業者は何らかの対策を講じていますが、対策による効果が見られない場合は、さらなる指導をしています。今後も、関係機関からの助言や一次産業に従事する皆さんからの意見を頂戴しながら、開発事業者等に対して、自然環境や生活環境に悪影響を及ぼさないよう対策を求めています。



濁水が流れる日出川

観光施策は短期、 中長期で計画を



井上幹夫 議員



問 全国旅行支援の市にとっての効果を問います。

答 市長

市内の主な宿泊施設への聞き取りでは、稼働率は80%以上で推移しているが、対応する従業員の確保ができないため、全体的な稼働を下げている施設もあると確認しています。

答 産業振興部長

県の全国旅行支援に登録をする市内の宿泊施設は、11月11日現在117件。県内の市町別での登録数は、志摩市が一番多くなっています。また、みえ得トラベル地域応援クーポンの登録数は238件と多くの事業者が参加しています。各事業者の努力により、市内の観光消費額は増加をし、全国旅行支援の恩恵をしっかりと掴んでいると認識しています。

問 令和5年6月に開催されるG7三重・伊勢志摩交通大臣会合は、志摩市の知名度を上げ、今後の誘客には絶好の機会です。この機会をどのように観光に結びつける考えかを問います。

答 政策推進部長

今回のチャンスを最大限に生かすため、市民や関係団体と一体と

なり、迎える方々を温かくもてなし、志摩市の豊かな自然環境や食文化等の魅力を国内外に戦略的、かつ効果的に発信をしていきたいと考えています。今後は、国際会議の開催地としてのブランドの確立につなげ、知名度の向上に伴う国際会議や研修等の誘致、そして、外国人観光客誘致の取り組みについても強化をしていきたいと考えています。

中長期の計画は

問 市有地である英虞湾の多徳島を年間通して楽しめる場所として利用できないのか。多徳島の観光利用についての検討や取り組みを問います。

答 産業振興部長

民間事業者の意見を参考にしながら、多徳島の歴史的な価値を最大限に活用できないかと考えているところです。一方、活用に当たっては、建築物の規制があるなど、水道インフラの整備がされていないこと、付近海域の共同漁業権、区画漁業権等、関係機関との協議が必要な事項が多くあります。活用に応じた課題を一つずつ解決しながら活用方法を考える必要があると思っています。

問 今後選ばれる観光地になるためには、綺麗なトイレの整備が必要と考えます。市の考えを問います。

答 産業振興部長

全体的なものとして、トイレの整備は今後のインバウンド需要等の観光の動向も踏まえた上での検討材料にはなると思います。検討課題にさせていただきたいと思っています。

問 旧学校施設のうち、教育施設から観光施設に用途を変えれば、十分利用が可能と思われる施設があると考えます。

今後、観光施設としての再利用が可能かどうか、どのような



海を眺めながら用を足せる
海ほたるのトイレ

問題点や課題があるかを問います。

答 政策推進部長

比較的新しい建物は、建物の耐用年数等の問題はないが、宿泊施設として利用するためには、部屋のつくり等大規模な改修が必要だと考えます。

また、用途変更を行うためには、建築基準法や消防法等の建築関連の法規に適合するよう、整備が必要となります。これらに係るコストに対する費用対効果についても整備する上での判断材料になると思います。もちろん、地元とも協議して、理解を得る必要があると考えています。

※他に買い物支援についても質問しました。

市民への情報は 公平を原則に



のなすみよ 議員
野名澄代

問 ごみ袋配布の周知が市のホームページのみであったため、その情報が一部市民にしか伝わっておらず、大半の方が口コミで知りました。

答 私が担当課に苦情を伝えたところ、約1ヵ月後に自治会の回覧にて周知されましたが、なぜ、当初に自治会の回覧・広報しま・防災行政無線等を使わず、市ホームページのみで周知したのですか。

答 市民生活部長

ワクチン接種会場でのごみ袋の配布が有効な機会の一つと捉え、接種が始まる10月19日に配布しました。

接種者以外の皆さんには、市のホームページと暮らしの情報アプリを通じて周知しました。

配布期間が2月28日であれば、高齢者への対応も十分可能と考えていましたが、市民の皆さんの反応が大きかったため、自治会をはじめとする様々な方に大変ご迷惑をおかけし、周知不足であったと反省しています。

現在は、11月中旬の自治会の回覧と広報しま12月号で周知しています。

問 周知方法に問題があったことを認識していると受け取りま



ワクチン接種会場

した。
市民への情報は常に公平を原則とした上で、今後の効果的な周知方法について、市の考えを問います。

答 市民生活部長

若い世代は必要な情報を選んで受け取る方が多くなっています。一方、年齢が上がるほど広報誌や自治会回覧等が有効であるなど、世代による工夫した伝え方が必要と考えています。

ごみ袋の代理受け取りは可能と変更

問 「ごみ袋の代理申請はダメ」とした対応は、長い距離を歩いていけない高齢者への配慮に欠けます。受け取りを本人と限定した理由を問います。

答 市民生活部長

窓口にもそのような声がたくさん寄せられたため、11月中旬の自治会の回覧後に代理の申請でも受け取れることにしました。

公用車の車検切れ運行を問う

問 公用車の車検切れ運行の経緯を問います。

答 政策推進部長

消防団配置車両では令和4年9月25日、消防団員が車両の車検ステッカーと車検証を確認した際に車検切れが判明しました。

原因は、消防団配置車両の初回の車検満了日の「2年」を「3年」と勘違いして、誤記載していたためです。また、本庁配置車両では、組織改編に伴い車両の所管を変更したため、車両の管理台帳に車検満了日を誤って記載していたためです。

なお、車検切れの期間中に乗車していた職員は、乗車する際のチェックを漏らしていました。

問 再発防止策を問います。

答 政策推進部長

毎月の車検対象車の確認、運行前点検および車検ステッカーの確

認を徹底していきたいと考えています。

公務に対する職員への指導は

問 9月定例会でも指摘しましたが、戸籍の届け出書類を4年間も引き出しに入れて放置した問題や、今回の公用車の車検切れ運行、ごみ袋配布の混乱と、職務に対する職員の姿勢に疑問符が付くことが続いています。公務員の職責について、どのような指導をされていますか。

答 副市長

まず、不祥事や不適切な事務が続いていることをお詫びします。その上で、忙しいときには上司がしっかりと見届けることが重要ではないかということで、「市役所一丸となって取り組んでいきたい」と今、頑張っていますのでご理解願いたいと思います。



公用車

住民の命と 尊厳を守る防災対策を



もり 森 みつ 光 子 議員



防災対策の 現状と課題

問 高台避難所の整備について現状と課題を問います。

答 危機管理統括監

市内8つの宿泊施設、団体と協定を締結し、避難所として協力を得ています。地震津波対応の市指定避難所は82施設で、約1万3800人の収容を想定しています。宿泊施設を加えると、1万5000人の受け入れは可能となります。

問 地震発災後、津波浸水地域から逃げ出せないと予想される

特定避難困難地域は、浜島・南張・船越・畔名・片田・越賀・甲賀・国府・和具の9地区があり、約1940人が対象となっています。避難所と避難方法の検討の進捗状況を問います。

答 危機管理統括監

令和4年度は畔名地区、和具漁港で津波避難タワー建設工事を実施しています。令和5・6年度に国府地区、令和6・7年度に甲賀北地区、令和7・8年度に片田地区の建設工事を予定しています。越賀地区は令和5年度にコミュニ



浜島津波避難タワー

ティ施設の高台移転を計画しています。船越地区においても地区の皆さんと協議を行い、有効な手段の検証を行います。南張地区については、新たな避難所施設の整備が必要な地区であると認識しています。引き続き協議、検討を行います。

問 一時避難場所に集まった後、市指定避難所へ安全に移動できる避難経路の整備の遅れは市全体の課題といえます。行政が責任をもって進めるべきと思いますが、どう考えますか。

答 危機管理統括監

橋梁の耐震化や高台への避難路等整備を進めていますが、自治会要望すべてに対応できていないのが現状です。利用を想定している土地が民地であったり、急傾斜等地形的に施工困難という課題があ

ります。市道管理者である建設部とも課題を共有し、自治会と連携して整備方法を検討していきます。

問 避難所開設と運営体制づくりの中

で、鍵の取り扱い、女性や子ども

答 危機管理統括監

避難所における女性や子ども、高齢者や障がい者の皆さん等への配慮については、防災技術指導員の知見や女性職員の視点を生かした検討を行っています。避難所のうち28か所にキーボックスを設置し、希望される自治会に暗証番号を伝えています。毛布等の備蓄は、避難所のスペースの問題を考慮し、分散しながら備蓄しています。

会計年度任用職員、 希望者全員の任用を

問 3年間任用された方々は、希望に応じて引き続き任用されますか。

答 総務部長

会計年度任用職員の再度の任用回数が限度に達した職員については、募集への申し込みに対して選考を行います。

問 会計年度任用職員制度は、自治体で働く非正規公務員の待遇改善を進めるための制度です。制度の趣旨を捉えて待遇改善について、市長の考えを問います。

答 市長

会計年度任用職員の皆さんには大変大きなお力を貸してもらっています。令和5年度の採用に向けて、早めに情報を出せればと思います。

※他にG7三重・伊勢志摩交通大臣会合についても質問しました。

観光産業の活性化 を目指して



はま ぐち だかし
濱 口 卓 議員



減少した観光客の 回復策は

問 観光産業の基礎となる観光入込客の現状と将来の目標数値を問います。

答 市長

現状では、全国旅行支援「おいでよ！みえ旅キャンペーン」の観光需要喚起策により、市内の主な宿泊施設については、稼働率が80%以上で推移しており、年末年始の宿泊予約状況についても80%以上の稼働を保ち、好調を維持していると考えています。

目標数値については、令和元年までの10年間の年間宿泊客数の平均値、141万4千人を基準に、30%増加させることとしているので、年間宿泊客数183万人と設定しています。

今後も各関係機関と連携し、志摩ならではの観光誘客、消費拡大事業を推し進めていきます。

問 今後の入込客の目標達成の課題と解決に向けた施策を問います。

答 産業振興部長

年間宿泊客数183万人



志摩観光ガイドブック

の達成については、ゴールデンウィークや夏休み、秋の行楽シーズン等、繁忙期に旅行者が集中をしている状況があることから、閑散期や平日に観光客を増加させることが、ポイントになると考えます。

目標達成の取り組みについては、現在の教育旅行満足度向上事業、あるいは学生合宿補助事業を継続させ、旅行のトップシーズンを外した旅行需要の取り込みを強化して、市全体で観光活性化に向けた取り組みを進める必要があると考えています。

さらに、コロナ禍における新たな旅のトレンドとして、環境負荷の少ない公共交通の利用促進に力を入れることや、自然環境の保全、水産資源の管理により守られた高付加価値な食材を志摩の強みとして磨き上げ、観光客の増加、宿泊客のさらなる獲得を目指したいと考えています。

志摩市への道しるべは

問 志摩市への来訪者の案内として、「志摩市駅」構想への考えを問います。

答 産業振興部長

志摩市を訪れる観光客が公共交通機関を利用する形で、アクセスを調べる際に志摩市駅という表示がされれば、訪れる方々へわかりやすさが増すことになるのではと感じています。

市内の駅名の名称については、市民の皆さんや各事業者のご理解が必要であると考えます。また駅名が変更される場合は、宿泊施設等の作成済み案内パンフレットの修正等、幅広い方々に負担が生じることとなります。

今後、費用対効果の検証や様々な方からのご意見を伺いたいと考えています。

検討委員会の設置が 望まれる

問 鉄道事業者との共同事業による誘客も含め、着実に効果が期待できる施策、将来を見据えた検討委員会の設置への考えを問います。



答 政策推進部長

駅名変更についても、最終的には志摩市地域公共交通会議で議論されることが想定されますが、鉄道事業者の意向や地域の理解・協力を確認して、検討を進めたいと考えています。

答 市長

志摩市駅というのは非常にメリットがあることも、私も自覚をしていますし、理解をしています。

そのような中、志摩市地域公共交通会議も含めて、地元の方々や事業者の方々、後は非常にタイミングも重要かと思っていますので、そういった部分も総合して、様々な可能性を含めて研究していきたいと思っています。

※他に市内産業の雇用状況と対策についても質問しました。

妊婦、子育て家庭の 孤立防ぐ



わたなべ ゆりか 議員
渡辺友里夏



問 令和4年度中に実施が決定した出産・子育て応援交付金事業は、妊娠期から伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することで、すべての妊産婦が公的支援につながる機会を確保し、育児用品の購入等、出産準備に当たっての出費や、家事・育児サービス利用等の経済的負担を支援するというものですが、市の取り組みを問います。

答 健康福祉部長

厚生労働省の事業案は、妊娠届の提出時、妊娠8カ月前後、出生届提出時から乳児家庭全戸訪問までの間、これを3期に分けて面談による伴走型相談支援を実施します。

また妊娠届の提出時と出生届の提出時から乳児家庭全戸訪問までの間、それぞれの時期に5万円相当を支給する経済的支援を組み合わせ、地方自治体におけるこれまでの取り組みを生かしながら、地域の実情に応じて取り組むという内容です。

市では現在、妊娠届提出時の個別面談を基本として、丁寧な聞き取りによる妊婦の状況把握を行う



とともに、家族の支援状況等を確認しながら、妊婦と一緒に作成するサポートプランの提案、妊娠期から産後にわたる各種事業の紹介等を行っています。さらに、出生から4カ月目までに乳児家庭全戸訪問事業として、出生されたすべての子どもと保護者を対象に、訪問しての面談も実施しています。

問 経済的支援は100%子どものために使っていたかどうか、現金配布ではなく妊娠・出産・育児関連用品、産後ケア事業の利用クーポンの配布等が望ましいと考えますが、制度導入時のシステム構築等の考えを問います。

答 健康福祉部長

他の自治体の動向も見ながら検討したいと考えています。

がん教育の充実へ 外部講師を活用

問 市のがん教育の取り組みを問います。

答 教育部長

三重県がん対策推進条例では「学校その他の教育機関において、児童及び生徒の発達段階に応じて、がんに関する理解及びがんに関する正しい知識を深めるための教育が行われるよう、必要な取り組みを行うものとする。」となっています。

また、文部科学省から出された中学校および高等学校の学習指導要領でも、「がんについて取り扱うものとする」と明記されており、市内においても、小学校は令和2年度から、中学校も令和3年度から、子どもたちの実態に応じたがん教育が実施されています。

答 教育部長

医療関係者をゲストティーチャーに招く授業も幾つかの学校で実施されており、浜島小学校では、がん医療に携わっている現場の医師を迎え、教員とともにがん教育の授業を実施しています。

専門的な立場で経験を踏まえた話を聞かせてもらうことは、がんについて正しく知るとともに、がんと共に生きていくことや、がんへの偏狭をなくしていくためにも大変有効ですので、教育委員会としてもしっかり取り組んでいきたいと考えています。



磯部バイパス工事後の 今後は



はまのよしと 濱野由人 議員



問 1日も早い開通が望まれる一般国道167号磯部バイパス道路改良工事について問います。交通量の転換予測等は行なわれていますか。

答 市長

現在の幹線道路である国道167号および伊勢道路は観光シーズンや休日には各所で渋滞が発生しており、また急カーブが多いことから救急患者の搬送にも深刻な影響を与えています。このような現状を改善するためにも、引き続き県と連携しながら磯部バイパスの早期の事業完成に努めたいと思います。

答 建設部長

県による将来交通量推計では、令和12年の伊勢道路における将来交通量は、磯部バイパスが整備されていない場合は1日約8000台、整備されている場合は1日約6600台と推計されています。よって、磯部バイパスの開通効果は約2割の減少となり、バイパス建設により交通量の分散化が見込まれます。

問 五知と白木インターチェンジ間の勾配緩和やカーブの直線化、渋滞対策や信号機設置等の考えを問います。

答 建設部長



磯部バイパス（トンネル内部）

答 教育部長

鳥羽警察署・県志摩建設事務所等の関係部署で組織する「通学路安全推進会議」において、磯部町地内の合同点検を令和5年度に予定しています。開通後の交通量の変化や通学経路の変更も視野に入れた、一体的な安全安心の確保に努めます。

新型コロナワクチン 副反応への対応は

問 ワクチン接種後の副反応について、市ではどのような事例を把握していますか。

答 健康福祉部長

ワクチン接種後の健康被害を市が把握する場合には、①「予防接種法第12条第1項により医師から国へ報告がなされ、その内容が市へ情報提供される」②「予防接種後、健康被害救済制度による救済給付の申請が市へ提出され

る」の2種類があります。救済給付の申請があった事例は内容非公開としています。数件の報告を受けています。

国からは因果関係が示されていない症状についても、幅広く報告するよう通知が出されているところです。

問 ワクチン接種をためらっている方へは、どのように配慮していますか。

答 健康福祉部長

人にワクチン接種を強制したり、未接種を理由に差別的な扱いをすることは許されません。市民の皆さんが予防接種による感染症予防効果と副反応のリスクの双方を理解し、自らの意思で接種を受けられるよう資料を送付しています。また、国・県の相談窓口等も活用していただければと思います。



予防接種後の健康被害救済制度

灯台ワールドサミットの 今後は



あき てる 小 河 光 昭 議員



問 平成30年に、志摩市・銚子市・御前崎市・出雲市の4市で立ち上げ、同年に第1回灯台ワールドサミットが志摩市で開催されました。市長の灯台ワールドサミットに対する考えを伺います。

答 市長

安乗埼灯台および大王埼灯台が持つ価値や灯台を含めたその周辺地域の魅力を観光資源としてさらに磨き上げ、参観灯台を有する自治体との連携を深めていきたいと考えています。

問 2基の参観灯台がある志摩市の今後の取り組みを伺います。

答 産業振興部長

令和5年4月に、安乗埼灯台は初点灯から150周年を迎え、大



男鹿市入道崎灯台

問 名称が「灯台ワールドサミット」であるので、日本の16基の参観灯台とは別で、世界に目を向ける考えはありますか。

答 産業振興部長

世界にもなかなか先進的なところもありますが、まずは、参観灯台16カ所を取り組みを進めていきたいと考えています。



出雲日御崎灯台

南伊勢町の鳥羽志勢 広域連合ごみ処理 事業への加盟を問う

問 鳥羽志勢広域連合のごみ処理事業は過去に、2市1町（鳥羽市・志摩市・南伊勢町）で進めていた事業ですが、南伊勢町が脱退していった経緯があります。その結果、志摩市と鳥羽市の負担が大きく増えました。南伊勢町の再加入について、今回の特別負担金の額では納得できないため、慎重な協議が必要だと考えます。南伊勢町が、ごみ処理事業に再加盟に至った経緯を伺います。

答 市民生活部長

南伊勢町は、平成21年当時、町単独で可燃ごみ処理施設を設置・管理・運営する方が、財政負担が小さいと判断され脱退しました。現在可燃ごみ処理施設の老朽化に伴い、今後の廃棄物処理の在り方の検討を進める中で、加盟を希望されました。

問 平成21年5月18日の志摩市臨時会議事録において、当時の数名の議員から「南伊勢町のごみ処理事務からの脱退という身

勝手な申し出には怒りを感じ、そして、あきれられるばかりです」、「市民として迷惑をかけられて、壊れたときは受け入れてくれ」というのは、許し難い行為である」、「本当に残念なことであり、志摩市への負担・影響を考えると、何とかならないのか」との発言が確認され、当時の南伊勢町の身勝手さがよくわかります。

特別負担金の金額の見直し検討について再度協議する考えはありませんか。

答 市長

持続可能な連合運営、市町運営をしていくためには、今回の決断が最良であったと思っています。

問 南伊勢町が新たに加わることで、その搬入路である磯部の地域に大きな迷惑がかかります。地域住民の意見・要望に対する市長の考えを伺います。

答 市長

要望があることも聞いています。しっかりと検討するべき課題であると考えていますので、前向きに取り組んでいきたいと思っています。

今こそ森林資源活用の チャンス



ほりえ 堀江しおん 議員



問 近年、アウトドアレジャーが人気です。この現状をどのように分析していますか。

答 市長

アウトドアレジャーは本市の自然環境を最大限生かすことのできるコンテンツの1つであると認識しています。また、キャンプ用品や地元食材等の購入による観光消費範囲の拡大、観光消費額が増加することも期待できます。SDGsの理念に沿った持続可能な観光地の価値と市場を創出し、地域産業全体の活性化を図りたいと考えています。

問 アウトドア市場の活性化は薪や炭等燃料材の消費促進に繋がります。この森林資源活用の好機に対する市の方針を問います。

答 産業振興部長

災害に強い森林づくりを進めることや、鳥獣被害から農地や生活被害の軽減を図るために、森林の持つ多面的機能を発揮できる取り組みが求められます。現在は市有林において継続して間伐や調整伐を実施している他、薪や炭の原木を確保したい林業者と森林所有者をマッチングする「森林バンク」



アウトドアブームで高まる燃料材需要

制度を設け、市ホームページで情報を公開しています。また、令和4年度は炭焼きの講習会を実施し、将来的には炭窯づくり講習会等にも取り組む考えです。

問 近年、市外の製炭事業者によるウバメガシの伐採が増えており、景観保護への配慮が不足している事例も見られます。このことへの対応を問います。

答 産業振興部長

森林の伐採行為の実態を確認し、伐採後の更新が適切に実施されることは、森林の多面的機能の発揮はもとより、適正な森林管理や森林資源活用の観点からも重要です。地域森林計画の対象である

民有林の木を伐採する際には、森林法により事前に伐採と伐採後の造林の計画を届け出ることが義務付けられています。届け出のあった山林に関して相談等が生じた場合は、職員が現場確認を行い、必要に応じて地域との調和を図る助言を行っています。

問 市内の燃料材を市内で消費する、エネルギーの地産地消の仕組みが必要と考えます。①「伐採の担い手育成」②「工具等の購入支援」③「地域おこし協力隊制度の活用」④「市内キャンプ場等への市内産燃料材の利用促進」への考えを問います。

答 産業振興部長

①炭焼き体験講習会やチェーンソー講習会等を実施し、関心喚起に努めています。

②他市町の先進事例も参考にしながら研究していきます。

③本市においては研修等の受け皿になり得る事業所の確保が難しい状況ですが、林業関係団体の皆さんと意見交換をしな



里山の適切な維持管理が求められる

がら研究を進めます。④循環型の経済活動が求められる現在、市内産燃料材への需要は十分期待できます。市内産燃料材を安定供給できる仕組みづくりを目指します。

問 本市が人々の訪問先として選ばれるためには、自然との共生は欠かせない観点です。分野を横断した取り組みが求められますが、その方針を問います。

答 政策推進部長

持続可能な地域社会の実現や地域課題の解決に向けて、積極的に協議や検討の場を持ち、情報共有・連携強化に努めています。また庁内部局間だけでなく、多様な関係者と強力に連携することで持続可能な地域社会の実現に取り組めます。

若い世代が 戻って来たくなる市に



やま かわ くす ひと
山 川 楠 人 議員



「SDGs＝環境問題」 ではない

問 市の人口流出過多の要因として、若者が、市内企業・団体に對して「働きがいがない」と感じてしまっていることが大きいのではないかと考えます。企業・団体の実際の労働条件・給与形態等を調査・分析し、SDGs目標8「働きがいも経済成長も」の「働きがい」を達成すべく政策を講じる考えはありませんか。

答 市長

働きがいのある企業や事業所を増やしていくことは、市にとっても大変重要なことだと考えています。市役所においても、しっかりと働きがいやワークライフバランス等、働きやすい職場環境づくりに努めながら、地域企業や事業所等への推進を図りたいと考えています。

答 産業振興部長

市内には、働き方改革に取り組み、職場環境の改善を図り、雇用促進を進めている企業も既にあると把握をしています。そのような魅力ある職場づくりに取り組む企業の紹介や、学校等との連携を図

りながら、意識の啓発等にも取り組んでいきたいと考えています。さらに、分析・調査や先進事例も参考にしながら、働きがいと同時に職場への誇り・愛着を持てるような企業の魅力度向上や持続可能な地域経済の取り組みを推進していきます。

問 「働きがい」のある環境を社員・職員に提供するためには、企業・団体の「経済成長」が必要です。市内の企業・団体へのDXの推進を行い、生産性を向上させるための政策等を講じる考えはありませんか。

答 産業振興部長

「DXの推進」とは、デジタル技術を活用し、地域の抱える課題



を解決し、地域経済や市民生活の利便性を高めるものであると解釈しています。今後は、市のSDGsプラットフォーム等を活用した情報提供や市内企業のニーズ等を把握し、その上で、官民連携により市内企業・団体のDX推進に努めていきたいと考えています。

支障木問題、 根本的な対策を

問 市民・路線バス事業者・土木建設事業者等にとって、重要度・優先度の高い市道沿いの支障木の伐採が遅れる理由は何ですか。

答 建設部長

1つ目は「所有者に関する対応に時間を要する」ためです。まず、現地確認・精査に時間を要し、支障木の生育している土地の所有者が市でなかった場合、法務局での調査・土地所有者への伐採依頼・個人での伐採が難しい場合の市での伐採承諾を得る期間等、確認に要する時間が必要となります。

2つ目・3つ目は「予算」と「計画」です。伐採した枝・葉等



路線バスも通る市道（旧国道）を覆う支障木

の運搬・処分費用等を抑えるために、伐採計画として、支障木の葉が落ちた秋以降の発注を予定しています。委託金額等の経費削減や伐採する間隔が伸びるよう、道路維持費の予算の範囲内で計画を順次進めていきたいと考えています。

なお、交通量も多く、通行に支障が生じる箇所のうち、市の道路作業員で伐採可能な路線は、現在も順次、直営作業にて伐採を進めています。

各地区自治会から支障木伐採等の要望が多く届いていることから、令和5年度は、令和4年度の伐採業務委託料の予算をさらに拡充できるよう、予算配分を十分に検討し、道路利用者の安全安心の確保に努めたいと考えています。

市立病院の 事業会計を問う



うへむら ゆき 上村 秀行 議員



問 市立病院において、令和5年度限定の新改革プランを策定する予定はないかを問います。

答 病院事業部長

令和5年度限定のプランを作成することは予定していません。ただ、毎年の点検・評価をし、5年度については3年度、4年度の点検・評価を踏まえ、更なる病院改革に取り組みたいと考えています。

問 令和3年度の経営状況をどう分析したかを問います。

答 病院事業部長

令和3年度の経営状況は、入院延べ患者数が昨年と比較し294人減少したことにより入院収益が減額となるものの、診療材料等の支出が少なくなったこと、新型コロナウイルス感染症の抗体抗原検査等による外来収益等が増額となったことで収益が上回り、黒字化を図ることができました。

問 令和4年度の上半期の経営状況について問います。

答 病院事業部長

9月時点で前年と比較して入院収益が、約3400万円減少しています。

問 医師1名が増員されたことにより、令和4年度の入院・外来収入予算額を確保できるか問います。

答 病院事業部長

10月からは入院患者をほぼ満床である60床で受け入れています。今後も、満足度の向上を図り、収益の増収と支出の抑制に努めます。

問 新型コロナウイルス感染症による減収分の予算額を確保するには毎月何人の入院患者が必要か問います。

答 病院事業部長

入院患者数を毎月1800人確保することを目標にしています。外来患者の受け入れは地域連携室が志摩医師会を中心に市内の開業医また、福祉事業者や関係者を含め調整をし、対応していきます。



志摩市民病院

屋外分煙施設の 整備の促進について

問 令和4年1月20日の総務省通知「令和4年度地方税制改正、地方税務行政に当たっての留意事項等について」を問います。

答 総務部長

現在、通知に基づいた屋外分煙施設等の整備は行っていないませんが、未成年の喫煙防止や、喫煙の害および、禁煙に関する正しい知識の普及、たばこの健康への影響等について出前健康教室を実施しています。

問 たばこ販売店の皆さんがよりよい喫煙環境のためにマナーの啓発や美化活動に取り組んでいることへの認識を問います。

答 総務部長

禁煙防止キャンペーンとして、生徒の登校時にポケットティッシュ等の配布を行い、スーパーマーケットでは未成年の喫煙防止を呼び掛けるなどの啓発活動に取り組んでいることを把握しています。また、駅前や街頭のほか、海岸等公共の場に落ちている吸い殻等のごみを拾う美化活動等、積極的にボランティア活動を実施され

ていることに感謝しています。



いなべ市役所の喫煙場所

問 たばこ税の使用目的は各自治体の判断に委ねられています。が市はどのような判断をしているか問います。

答 総務部長

たばこ税は普通税として一般財源に充当され福祉、土木、教育等市民の皆さんの生活向上のため、様々なサービスに活用されています。

問 庁舎や駅前観光施設等で屋外分煙施設等の設置を進める考えがないのかを問います。

答 総務部長

現在設置の考えはありませんが、望まない受動喫煙を防止する取り組みは必要と考えています。屋外分煙施設設置以外の対策について、引き続き情報収集に努め、受動喫煙防止対策を考えています。

常任委員会管外視察研修レポート

総務産業常任委員会の委員が、10月に2日間の日程で管外視察研修を行いました。先進地から得たこと等について研修レポートを掲載します。

10/11~12

研修先

総務産業常任委員会

神奈川県小田原市

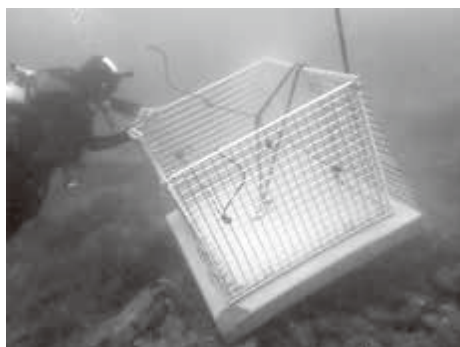
静岡県地震防災センター

静岡県浜松市道の駅「くんま水車の里」

藻場再生事業

小田原市

小田原市では、2019年台風19号以降、カジメが年々減少しアワビの漁獲量も10分の1に激減したことから、地元ダイバーやコンフリート製造業者および県水産技術センターの協力を得て、2021年9月に「小田原藻場再生活動組織」を設立しました。藻場再生に向けて保護網内に成長の早い



食害を防ぐ防護網付き藻場礁を海底に設置

「早熟カジメ」の母藻を取り付けた漁礁4基を沈設し、藻場再生の経過観察を実施しています。藻場再生は志摩市の最優先事業で、三重県水産研究所や三重大学等と官学連携して取り組む必要があります。漁業をはじめ観光資源としても重要なことから、地域全体での体制づくりが必要です。

体験を通じた防災知識と技術の習得

地震防災センター

静岡県地震防災センターは、防災力の啓発・創造・発信の拠点施設です。津波の映像や各種パネルおよび展示品の説明をはじめ、備蓄品の解説、地震体験装置での疑似体験により改めて地震の怖さを認識しました。また、座学では、地震防災アドバイザーによる講義を通じて学校や家庭での話し合うことの重要性を学びました。今後、志摩市の防災減災対策や避難



静岡県地震防災センターにて

計画を考える上で、それらの必要性を感じました。市内自治会や小中学校での防災講話および現実在即した避難訓練等により1人でも多くの市民が命を守るよう啓発活動が最も重要と再確認できました。

過疎地域にて住民主体による集客の拠点づくり 道の駅「くんま水車の里」

昭和60年度に「明日の郷を語る会」が開催され、人口減少の危機感の共有に至りました。パネルディスプレイションでの1人の女性の発言が村おこし「くんま水車の里」誕生の原点となりました。食事処では、元気なお母さんたちが

作ったそば等が食べられ、物産館では、手づくり食品・木工品等が購入でき、体験工房では五平餅等の手づくり体験ができます。またジビエカレー等の商品開発も行っています。「海ほおずき」の今後の活用や小集落地区の人口減少対策のヒントを得る視察でしたが「海ほおずき」単体ではなく、周辺地域全体での集客の取り組みが必要です。

今後とも視察目的を定め、先進的な取り組みを行っている自治体等を訪問し、研修を受けて志摩市の発展に取り組みます。



手づくり食品・木工品等が並ぶ物産館



こんにちは 志摩びとさん

三重県立 志摩高等学校

志摩 High School Patrol -アフター G7-

～G7 三重・伊勢志摩交通大臣会合に向かって～

●どんな活動を
していますか？

主に民間企業や地域とのかわりを積極的に、志摩高校の良さを伝えるとともに、志摩の魅力を吸収しています。

今年度はコロナ禍のため活動は不十分でしたが、9月23日に志摩スペイン村にて秋の交通安全運動に参加して、鳥羽警察署と啓発活動を行いました。



●活動で得られた学びを教えてください。

今回行った啓発活動を通じて「交通安全」という言葉を、ただ単に地域の人に呼び掛けるだけではなく、車両側と歩行者側の両方の視点が理解できて交通安全のきっかけにもなりました。

●今後の活動について教えてください。

今後は、フィールドワークで地域の皆さんとかかわりを持ち、校内発表の場において地域の方々に来ていただきたいです。

この「地域とのかわり」を次の世代の生徒にもつないでいき、志摩の魅力を再発見してもらいたいです。

より良い議会だよりに向けての アンケートにご協力ください！

皆さんに読んでいただける議会だよりを目指してアンケートを実施しています。数分程度で完了する、とても簡単なアンケートです。ぜひ回答にご協力をお願いします。

URL <https://logoform.jp/form/c8nc/203818>



■議会広報特別委員会

委員長	野名 澄代
副委員長	堀江 しのぶ
委員	山川 楠人
委員	濱野 由人
委員	松井 研二
委員	前田 俊基
委員	山下 弘

こちらをスマートフォン等で読み取るか、インターネットでURLを入力し、アクセスしてください。

議会トピックス



はまぐち たかし
濱口 卓 新副議長が就任しました。

※関連記事は8ページ

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳（朗読）による広報をお届けしています。